

令和8年度 美麻小中学校グランドデザイン



自律した学習者

3つの学び方「わからないということ」「友だちの声に耳を傾けること」「自分のわからなさを追究すること」で授業を創ります。

「聴く・問う」から始まる対話活動を中核に据えた教育活動を重視し、主体性や思考力・判断力・表現力を育みます。

学びの発達に着目して教育課程を編成し、義務教育9年間を「協働の学び」でつなぎます。

全職員が子どもの発達に応じて「聴く」姿勢を基本にした支援を行い、心の安定を図ります。

学び合える教師集団、学び続ける教師を視点において、課題研修・共通研修・マネジメント研修を行い、教師力を高めます。

育てる会や美麻地区の皆さんと協力して、全国から集う山村留学生を育てます。

地区との合同運動会、合同文化祭を通して、地域の皆さんと共に行事をつくります。

コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を有効に機能させ、地域の方々が学校づくりに積極的に参画できるようにします。

総合的な学習の時間では、美麻スクールパートナーズをはじめ様々な皆さんと共に学ぶ場「美麻市民科」と「夢の時間」を位置づけ、ふるさと美麻（対象）や友だち、自己との対話を深められるようにします。

米国メンドシーノ訪問交流と全校による美麻訪問交流を通して、異文化理解と国際感覚を養い、人的成長を促します。

職員間の協働により
対話を通して、主体的に深い学びに向かう児童生徒

地域との協働により
ふるさと美麻を愛し、語り、想いを深める児童生徒

育成する「生涯学び続けるための基礎力」
(基本的生活力 中核的学力 社会力)

ジャンプ期（8年～9年）

自らの生活を拓く学び

ステップ期（5年～7年）

ものごとの根拠を探る学び

ホップ期（1年～4年）

体験的な学び

協働の学び

重点2（体づくり）

異年齢の児童生徒同士でつなぐ元気アップ運動によって、自他の動きや取り組みのよさを分かり合い、主体的に取り組む体づくりを目指す。

重点1（学びづくり）

概念的知識を踏まえ、子ども自身が自己の考えを「友の考え」や「既有知識」、「経験」とつなぎ、学びの深まりを実感できるような授業づくりを目指す。

重点3（集団づくり）

自治会活動や歌声づくりを中心に、縦割り班活動を取り入れながら、リーダーとフォロワーが互いの立場を理解し合い、信頼関係によってつながる集団の形成を目指す。

令和8年度 教育課題

深い学びに向かう子ども ～深い学び=つながる学び～

学校教育目標 心と体をひらいて学ぶ美麻の子

教育理念 個の生き方や考え方を尊重する学校づくり

